



障害者虐待防止研修 ～福祉職のダークサイドを考える～

日本では近年まで、「旧優生保護法」の下、障がい者に強制不妊手術・人工妊娠中絶を受けさせるという国家的な人権侵害が行われてきました。（昨年7月3日に最高裁判決がありました！）2016年に「障害者差別解消法」が施行されてからも施設内での障がい者、高齢者に対する虐待事件は起こり続けています。本研修では、これまで「虐待予防」や「ケアの本質・実践とは何か」について考え、自らも悩み続けながら現場の福祉職を応援している立教大学の結城俊哉先生をお招きし、福祉職（ケアの担い手）による虐待問題・優生思想及びケアの倫理について考えます。利用者との援助関係において生じる「怒りや悲しみ、恐れや不安」など、さまざまな否定的感情にさらされる福祉職のこころの闇（ダークサイド）から虐待や差別・排除の問題を捉える研修です。

特に福祉職が「こころの健康」を保ちながら働き続けるのに役立ちます。



3月10日 火
10:00 - 12:30

会場 こころの健康支援センター本館2階
(布田5-46-1)

定員 30名（先着順）

参加費 無料

対象 市内在勤の福祉職

申込 申込期間 ～2月25日(水)

右記2次元コードまたはURLからお申込みください。

※HPからも申込できます。

<https://forms.gle/Bsvf4VNijGgmU5Ws6>



講師：結城 俊哉 氏
(立教大学)

《結城俊哉先生プロフィール》

主な研究テーマは障害福祉学、ノーマライゼーション、福祉文化論。東日本震災以後の被災地におけるコミュニティのリジリエンスとケアの方法について基盤研究や、障害者の自己表現活動としてのアール・ブリュットなどの研究に取り組む。著書に『ケアのフォークロア 対人援助の基本原則と展開方法を考える』（高宮出版）、『共に生きるための障害福祉学入門』（大月書店、編著）、翻訳書『ダウン症をめぐる政治』（明石書店）などがある。

調布市内で働く福祉職のスキルアップのための研修です。集合形式で実施します。

※障害福祉サービス等事業所施設運営費補助金の補助要件となります。（補助要件につきまして、ご不明な点は調布市障害福祉課にお問合せください。）

